

## めあて

日本の伝統芸能でもある剣舞・詩舞を観て体験することにより、興味・関心を深め伝統文化に親しもうとする心情を育てる。

## 対象：クラス単位・学年単位

対象

小4

小5

小6

中1

中2

# ぎんえいけんし ぶ 吟詠剣詩舞



授業の流れ（基本プラン）

1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

実 演

講 話

体 験

質 問

実 演

- ◆実 演◆ 日本刀を詠ず（剣舞）、荒城の月（詩舞）等《生の演技を観ることで魅力を感じさせる》
- ◆講 話◆ 吟詠剣詩舞の歴史、吟詠剣詩舞の小道具と表現方法  
《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》
- ◆体 験◆ 扇子、刀に触れてみる 「さくらさくら」を踊ってみる  
《自由に触れる、表現することで関心を高める》
- ◆質 問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を  
質問してみましょう
- ◆実 演◆ 体験してから演技を観ることで  
吟詠剣詩舞への関心をさらに高める



## 講 話

吟詠剣詩舞とは・・・

「吟詠」と「剣舞」と「詩舞」の3つを総称したもので、漢字だけで作った「漢詩」で「日本の歴史物語」や、花の美しさ、月の清らかな光、春夏秋冬の季節、人生の様々な出来事を歌った「吟詠」に合わせて、刀や槍などで勇ましく踊る「剣舞」や、扇や傘を使って、花鳥風月、志を表した詩などで踊る「詩舞」があります。



## 実 演



## 体 験



### ☆実施校からの声☆

・子どもたちの知らない体を動かす伝統文化を体験し、「6年生の社会で学習する歴史の内容」や、子どもたちにとっては新鮮さもあり、良い活動だと感じました。全員が初めての体験だったので興味をもって取り組んでいて、2時間があっという間でした。最後には、ステージでの発表を見合うことができ、お互いに良さを感じることができました。